

2014年11月28日

朝日放送株式会社 報道局ニュース情報センター

広報局OPEN↑推進部

ABC

阪神・淡路大震災 20年フォーラム

『災害とメディア』

～報道は、何ができて、何ができていないのか～

“災害報道のあり方を考える”フォーラムをABCホールで開催

1995年1月17日の阪神・淡路大震災から、20年の節目を迎える2015年。

身体と心に刻みこまれた地震の恐怖。

そして、2011年3月11日の東日本大震災が、その意識を呼び覚まし、津波の脅威に加え

原発事故という難題を社会に突きつけた。

4つのプレートがひしめき多くの活断層が存在する日本は、地震の危険とは背中合わせである。

大地震はいつかまた必ず起きる。そして風水害、土砂災害は常に起こり続けている。

私たち報道機関は、災害に対してどう向き合うべきなのか。

メディアは、災害に際して何ができるのか。そして何ができていないのか。

阪神・淡路大震災や、東日本大震災の被災地の現状報告なども交えながら

記者や専門家らの討議を通じて災害報道のあり方を考える。

≪開催概要≫

●タイトル: 阪神・淡路大震災 20年フォーラム 『災害とメディア』

～報道は、何ができて、何ができていないのか～

●日時: 2015年1月10日(土)

16:00～19:00 (開場 15:00 予定)

●場所: ABCホール 〒553-8503

大阪市福島区福島1丁目1番30号

●内容(予定):

第1部 ABCからの報告: 阪神・淡路大震災の現状とメディアの課題 他

第2部 パネルディスカッション「災害にテレビ・ラジオはどう向き合うか」



●出演(予定):

【コーディネーター】荻上 チキ(評論家/シドス編集長)

【報告】正木 明(気象予報士) 他

【パネリスト】高森 順子(阪神大震災を記録し続ける会事務局長)

隈本 邦彦(江戸川大学 メディアコミュニケーション学部教授)

木須 八重子(元宮城県仙台市宮城野区長) 他

【進行】高橋 大作(ABCアナウンサー)

～プロフィール～

【コーディネーター】

◆荻上チキ (おぎうえ・ちき)



1981年生まれ。シノドス編集長。評論家・編集者。著書に『ネットいじめ』(PHP新書)、『社会的な身体』(講談社現代新書)、『いじめの直し方』(共著、朝日新聞出版)、『ダメ情報の見分け方』(共著、生活人新書)、『セックスメディア 30年史』(ちくま新書)、『検証東日本大震災の流言・デマ』(光文社新書)、『彼女たちの売春』(扶桑社)、『夜の経済学』(扶桑社 飯田泰之との共著)、『未来をつくる権利』(NHK 出版)、編著に『日本を変える「知」』『経済成長って何で必要なんだろう?』『日本思想という病』(以上、光文社 SYNODOS READINGS)、『日本経済復活 一番かんたんな方法』(光文社新書)など。

【報告】

◆正木 明 (まさき・あきら)



1961年生まれ。気象予報士/防災士。20歳で『波乗り』というスポーツに出会い、波がいつ、どこに立つのかを知りたくて『気象』の勉強を始めたのが、現在の仕事に就いたきっかけとなる。お天気キャスター歴は25年を超え、“関西の朝の顔”として「おはようコールABC」「おはよう朝日です」に出演するなどお茶の間にも親しまれている。日々の天気の移り変わりの中で、特に最近の急激な気候変化に対して何か出来る事はないかと模索する中、防災士としての資格も取り、気象からくる災害や様々な防災に関しても知識を深めている。

【パネリスト】

◆高森順子 (たかもり・じゅんこ)



2010年より阪神・淡路大震災の手記集を出版している「阪神大震災を記録しつづける会」事務局長。2011年より3年間、阪神・淡路大震災の展示・研究施設「人と防災未来センター」において、震災資料を保存、公開する実務を担当。現在、大阪大学大学院博士後期課程在籍。専門はグループ・ダイナミクス。

◆隈本邦彦（くまもと・くにひこ）



1980年NHKに入局。86年報道局特報部気象庁担当、報道局社会部災害班などで地震災害・医療等を中心に取材。NHKスペシャルなどのドキュメンタリー番組も制作。2005年北海道大学科学技術コミュニケーション養成ユニット特任教授、08年江戸川大学メディアコミュニケーション学部教授、11年名古屋大学減災連携研究センター客員教授を兼任。09年度日本災害情報学会廣井賞実践賞。

◆木須八重子（きす・やえこ）



公益財団法人せんだい男女共同参画財団理事長。1978年仙台市役所入庁。生涯学習、男女共同参画、総合計画、市民協働、環境などを担当。2010年4月～12年3月仙台市宮城野区区長。東日本大震災発生時は、宮城野区災害対策本部長として、被災者の初動時対応から仮設住宅移転、集団移転に向けたコミュニティ形成などに取り組む。13年4月より現職。

《ご応募・お問い合わせ》

●募集人数：200名／参加無料・事前募集

★2名様もしくは1名様単位でご応募下さい。

●ハガキまたはインターネットの応募フォームよりご応募下さい。

□ハガキ 宛先：〒553-8503 ABC「災害とメディアフォーラム」係

住所・氏名・年齢・職業・電話番号・希望人数(2名もしくは1名)を明記の上

□インターネットの応募フォーム URL http://asahi.co.jp/s_media/

*ABC ニュース報道番組「キャスト」のホームページからもご覧いただけます。

●応募期間：12月1日(月)～18日(木)

【ハガキ】12/18 必着 【応募フォーム】12/18 正午迄切り

●当選者の発表は招待状の発送をもって代えさせていただきます。

●未就学児の入場はできません。

●当日の様子を撮影し、放送、ABCホームページ、ABCyou tube 等に掲載する場合がございます。

予めご了承ください。

＜本件に関するお問い合わせ＞

朝日放送株式会社 広報局 OPEN↑(オープンアップ)推進部

TEL:06-6457-4727(平日 10:00～18:00)